

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-11C	12-062	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)		
Alcohol drinking and epithelial ovarian cancer risk. A systematic review and meta-analysis. 飲酒と上皮性卵巣癌リスク：システマティックレビューとメタアナリシス		
執筆者		
Rota M, Pasquali E, Scotti L, Pelucchi C, Tramacere I, Islami F, Negri E, Boffetta P, Bellocco R, Corrao G, La Vecchia C, Bagnardi V.		
掲載誌		
Gynecol Oncol. 2012 Jun;125(3):758-63. Review.		
キーワード		
飲酒、上皮性卵巣癌、メタアナリシス		
要 旨		
<p>目的： 飲酒と上皮性卵巣癌リスクとの関係を定量化するため、我々はこれまでに出版された観察研究のメタアナリシスを行った。</p> <p>方法： Pubmed を用いて、我々は 2011 年 9 月までの英語原著論文として出版されたすべてのケースコントロール研究およびコホート研究の文献検索を行った。27 の観察研究が含まれ、そのうち 23 はケースコントロール研究、3 つがコホート研究、1 つが前向きコホート研究の pooled analysis であった。全体で 16,554 名の上皮性卵巣癌の症例が含まれた。ランダム効果モデルを用いて pooled メタアナリシス推定値を算出した。</p> <p>結果： 非飲酒/機会飲酒に対する飲酒のメタアナリシスによる相対リスク(以下 RR)は 1.00(95%信頼区間(以下 CD)0.80~1.50)であった。RR はそれぞれ、少量飲酒 (1 基準飲酒量/日以下) で 0.97(95%CI 0.92~1.02)、中等量飲酒 (1 回より多く 3 基準飲酒量未満/日) で 1.03(95%CI 0.96~1.11)、大量飲酒 (3 基準飲酒量以上/日) で 1.09(95%CI 0.80~1.50)であった。特に、境界癌の 0.96 (0.74~1.26) に対して浸潤性上皮性卵巣癌の RR は 1.00 (0.95~1.06) であった。癌の組織型による層別解析にて、漿液性癌 (RR 1.00、95%CI 0.84~1.19)・粘液性癌 (RR 0.91、95%CI 0.78~1.08)・印環細胞がん (RR 0.93、95%CI 0.76~1.14) では関連が見いだせなかったのに対して、類内膜上皮性卵巣癌に対してアルコールの控えめな予防効果 (RR 0.82、95%CI 0.70~0.96) が明らかになった。出版バイアスのエビデンスは認められなかった。</p> <p>結論： この包括的なメタアナリシスにより、飲酒と上皮性卵巣癌のリスクとの間に実質的な関連があるというエビデンスは得られなかった。 基準飲酒量は国や地域によって異なるが、アルコール量換算で 8~14g。</p>		